

前橋市議会議員

絆

主役は市民!

細野勝昭 活動報告

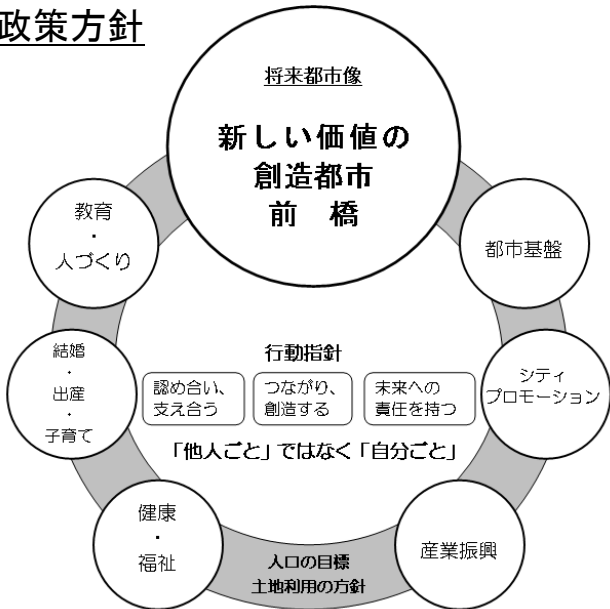
2019年 新年号/発行：ほその会 前橋市文京町1-45-3



<第7次総合計画 基本構想の全体イメージ図>

計画期間：2018～2027年度の10年間

政策方針



10年後の人口目標（2027年度）318,000人

ビジョン

めぶく。

～良いものが育つまち (where good things grow.)～

迎春

新年あけまして
おめでとーございます
お元気で爽やかに
新春をお迎えのことと
拝察致します

昨年は九州豪雨をはじめ、多くの自然災害が全国各地で起こり、尊い多くの人命が失われました。地域の防災訓練にも参加させていただいておりませんが、自然災害の驚異はいつ・どこで起こるか判りません。「備えあれば憂いなし」との思いで、災害に対処するための備えとして地域防災組織の確立と日頃の防災訓練は重要であります。安全・安心な生活環境構築に向けた取り組み、行政と連携を取り推進して行きます。

第七次前橋市総合計画及び前橋版総合戦略で掲げる重点施策である「六つのまちづくりの柱」が確実に推進、ステップアップしていくことが「新しい価値の創造都市前橋」実現には不可欠であります。更に事業推進にあたっては、財政的裏付としての財源確保

策が重要であります。

国の二〇一九年度の予算総額が一〇一兆四五六四億円が閣議決定され、社会保障費は、三四兆五八七億円といづれも過去最高とのことであります。



本市もまちづくりに関する多くの政策課題を抱えている中であつて、財政状況は極めて厳しい状況にあります。

コスト意識と費用対効果の検証により効果的かつ効率的な財政運営が強く求められますことから、それぞれの事業の進捗状況も含め検証していきます。

まちなのにぎわいの創出や市民の移動手段としての公共交通の整備・充実が求められております。

そこで全国初となる自動運転バスによる、客を乗せた営業運行が、十二月十四日から市と群馬大学と日本中央バスの共同運行で始まりました。

JR前橋駅から上毛電鉄中央前橋駅間で、本格導入の可能性などを探る、今後の便利な移動手段として確立することも期待して

いるとのことから注視をしていきたいと考えます。

さて、今年には統一地方選・知事選・参議院議員選挙が施行されます。

四月の県議会議員選挙には地元の前橋小学校・第五中学校の卒業生である「本郷たかあき」県議が二期目の挑戦に向け活動されています。

現在、本市は各種事業展開にあつて、県との連携は欠かせません。地域の皆様のご支援をいただき県議会に送り出させていただきましたが、今回の二期目の選挙は厳しい状況にありますことから、地域の皆様の力強いご支援で、再び議会に送り出していただきますよう心からお願ひ申し上げます。

私の政治姿勢でもある「主役は市民」。この信念に基づき、誠実・努力・行動力を持って果敢に挑戦し、前橋市が抱えている諸課題解決に向け、住みよいまちづくりに取り組んでいきます。

今後も一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりましても幸多い年でありませう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

「今年も一年がんばるぞ」

細野勝昭 拝

第4回(12月)定例会
総括質問(抜粋)

*アーバンデザイン

策定業務について

・官民連携による自立したまちづくりを推進し、中心市街地の将来にわたって市民活動の核として存続、市全体が快適で調和のとれた魅力的なまちとなることを目指し、「新しい前橋らしさの創造と中心市街地の活性化」に向け、具体的な将来像の具現化、そのために調査分析そして中心市街地の将来の姿を具体的に可視化し、更に市民や民間団体などの意見や街の現状を把握した上で向うべき方向性をデザインしていく事業(事業費用は三千七百万円)とのこと。そこで、アーバンデザイン策定業務に係る3人の米国人デザイナーと米国内在住の日本人(通訳兼ね、ポルトランド在住)の方を招致され策定業務に取り組まれたが、人選に至った背景とこの手法で本市が目指している「前橋らしさ」の追求との整合性についての考え方を伺います。

*各種事業の推進体制について

・多くのハード事業について、建設部に係る国道50号本町二丁目交差点(五差路)の計画・道の駅、都市計画部に係るC・C・R事業・駅北口再開発事業・中心市街地再開発事業・アーバンデザイン策定事業・立地適正化計画の推進等、これだけのハード事業が集中しておりますが、現状でのマンパワーで対応できるのかその対応策について

・事業主体が「市民」であったり「官民」であったりと複雑化してきており資金面でも市・県・国の補助金に加え、民間の資金力の多寡が事業の進捗に大きく関わってくると思われる。事業推進・成功の秘訣は強い交渉力に裏打ちされたものが求められると思われまます。今更言えることではありませんが「あれもこれも」という進め方ではなく、確実に一つ一つ消化をしていくことが必要と思われまます。今後の事業展開の進め方について市長に答弁を求めまます。



*新年度予算編成について

・まえばし祭りの時に「元氣21」で開催されていた市内中学校の生徒による吹奏楽の合同演奏会が「中止」となり2年目を迎えました。その中止の理由たるや「楽器と子どもたちの輸送費(一〇〇万円弱)が確保できなかった」との理由であったとのこと。前橋市では中心市街地活性化の一環として多くのイベントが開催されております。イベント自体は経済効果をもたらすかも知れませんが、そのための資金を捻出するために、そのしわ寄せが文化や社会教育・生涯学習といったソフト部門に押し付けられる構造になってきていることに危機感を感じます。「中止」という決定に多くの関係者から「異論」が出ておりますが、教育の一環として、再考の検討について見解を伺います。

・29年度の収支決算書によりますと前橋祭り・七夕まつり・花火大会など三大祭りに対する市・コンベンション協会・まちづくり公社からの補助金総額は、五七四六万円に対し、商工会議所の負担金については二三〇万円となっておりまます。この状況について財政当局はどのように感じ取っておられるのか、本市の財政状況に照らして、率直にどのよう思われているのか伺います。



総括質問する細野議員

・新年度予算編成にあたって、財政の硬直化が進んでいる現況に照らして、市税をはじめとして自主財源の確保、事業の選択と集中による積極的な事業の見直しに加え、補助金の取り扱いについても、応分の負担を求めるやり方で事業展開を図ることが重要であるとともにも急務であると考えまますので、新年度予算に反映されるよう、更に主催者に対する祭りのあり方についても「身の丈に合った」取り組みも視野に入れた働きかけが重要と考えまますが見解を伺っておきます。

*アーツ前橋について

・前橋市の小学生を対象にした絵画展、第30回MOA美術館前橋児童作品展が、前橋元氣プラザ21で開催され、最高賞のMOA美術館奨励賞に天川小学校六年生の「長坂海希さん」が輝き、全国児童作品展に出品されるとのこと。子どもたちの美術に関する意識の向上とアーツ前橋を身近に感じていただく機会創出という意味からも、アーツ前橋に子どもたちの作品を展示して、展示作品を子どもたちに鑑賞してもらおうような企画について、アーツ前橋運営評議会にて検討を含め見解を伺います。更に教育委員会との連携の中で、教育の一環としてのアーツ前橋の活用について、子どもたちのモチベーション向上とアーツ前橋をより身近に感じていただく機会になると考えまますので、検討していただけたらと思ひます。



◎地域の課題について◎

天川小・第五中学校区の通学路・生活道路は、渋滞緩和の迂回路として利用されることも多く、横断道路標示・停止線などの不明個所も多く、早急な対応が求められまます。併せて道路標識の不備などについては、自治会長さんに連絡していただければ、道路管理課や交通政策課と県警との連携をはかり安全確保に対応していきまます。

市政に関するご意見・ご要望がありましたらご連絡ください



自宅事務所
〒371-0801
前橋市文京町1-45-3
TEL: 027-221-2208
FAX: 027-221-2279
携 帯: 090-3314-6881

議会事務局 〒371-0026
前橋市大手町2-12-1
TEL: 027-224-1111
所属 会派: 市民フォーラム
所属委員会: 建設水道常任委員会・委員
都市計画審議会・委員